

◎第10回理事会(43.3.22)出席者:酒井,松見各副会長,羽田専務理事,栗田,伊藤,飯吉,岩崎,神田,米谷,堺,高橋,横戸,吉田,渡辺(豊),市原の各理事,橋監事。議事録署名理事の決定:酒井副会長,羽田専務理事,飯吉理事。記事:富樫会長入院加療中のため酒井副会長,議長となり議事をすすめる。

A. 報告事項:つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された;1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会,その他報告。4)役員候補者選考委員会報告。B. 協議事項:1)昭和43年度事業計画案を承認。2)昭和43年度予算案を承認。3)土木学会役員候補者選考内規の一部改正について。4)第2回評議員会開催について。5)その他。6)委員の委嘱について

- ① 昭和42年度役員候補者選考委員会  
委員 栗林 隆 北海道開発局港湾部  
松本順一郎 東北大学  
大久保喜市 運輸省港湾局  
金沢 良 (株)間組大宮工場  
堺 毅 日本大学  
神保 正義 日本道路公団工務部  
鈴木 秀昭 国鉄建設局幹線調査室  
増岡 康治 建設省関東地方建設局  
山本 将雄 (株)成和土木(株)  
横田 周平 (株)東京鉄骨橋梁製作所  
長坂 一彦 (株)熊谷組名古屋支店  
細井 正延 名古屋工業大学  
河村 重俊 大阪市総合計画局  
小西 一郎 京都大学  
三瀬 貞 大阪市立大学  
三野 定 建設省近畿地方建設局  
坂田 静雄 (株)具造船所  
久富 一之 福岡県土木部

- ② 会誌編集委員会  
委員 富田 勇 運輸省港湾局  
③ 橋梁構造委員会  
委員 池田 康平 日本鉄道建設公団計画部  
下川 浩資 建設省道路局  
上原 行孝 首都高速道路公団第2建設部  
委員兼幹事 尾坂 芳夫 国鉄構造物設計事務所  
伊藤 学 東京大学工学部  
篠原 洋司 建設省道路局  
④ トンネル工学委員会運営委員会  
委員長 住友 彰 (株)橋梁コンサルタン

◎各種委員会

(1) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会コンクリート材料に関する分科会打合せ(43.2.12)出席者:村田主査,長滝幹事。議事:「コンクリート材料および配合に関する試験研究」の報告書に関する打合せ。

(2) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会設計に関する分科会担当者打合せおよび大阪空港視察(43.2.18)出席者:関係者8名。議事:1)大阪空港および拡張工事現場の視察。2)軟弱地盤上におけるコンクリート舗装施工上の問題点の検討。3)その他。

(3) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会設計に関する分科会担当者打合せおよび広島空港視察(43.2.19)出席者:関係者9名。議事:1)広島空港および同空港拡張工事現場の視察。2)軟弱地盤上におけるコンクリート舗装施工上の問題点の検討。

(4) 空港舗装研究委員会アスファルト舗装部会主査幹事会(43.2.19)出席者:関係者9名。議事:1)コンクリート舗装部会との関連について。2)本委員会開催への準備について(総括報告書(案)の取りまとめ方針)。3)その他。

(5) 日本土木史編集委員会(43.2.19)出席者:青木委員長,羽田専務理事,ほか17名。議事:1)経過報告。2)各編の作業進捗状況についての報告。3)日本土木史編集上の問題点について。

(6) 第18回原子力土木技術委員会(43.2.19)出席者:左合委員長,ほか11名。議事:1)第6回原子力総合シンポジウムについて。2)原子力と土木技術(学会誌掲載原稿)について。3)今後の活動について。

(7) 空港舗装研究委員会アスファルト舗装部会幹事打合せ(43.2.20)出席者:関係者6名。議事:アスファルト舗装部会「構造設計に関する調査研究」報告書の取りまとめ方針について。

(8) 第31回軟弱地盤耐震設計研究委員会(43.2.20)出席者:岡本委員長,ほか19名。議事:1)前回議事録の確認。2)昭和42年度報告書原案の審議。

(9) 鋼鉄道橋方書委員会第4回幹事会(43.2.20)出席者:関係者6名。議事:座屈に関する諸条項の問題について検討。

(10) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会幹事会(43.2.21~24)出席者:関係者2名。議事:コンクリート舗装に関する調査研究報告書の総括取りまとめ。

(11) 異形鉄筋設計例改訂小委員会担当者打合せ(43.2.21)出席者:関係者8名。議事:異形鉄筋設計例改訂(案)の審議および編集について。

(12) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会設計に関する分科会打合せ(43.2.22)出席者:関係者2名。議事:

「空港舗装の路盤に関する調査研究」の取りまとめ。

(13) 第1回橋梁構造委員会(43.2.22)出席者:平井委員長,ほか関係者7名。議事:1)前回議事録の確認。2)委員会構成の検討(委員の追加,幹事の選出)。3)英文耐震規定の橋梁部門改訂について。4)構造工学関係現況調査(ASCEからの依頼)について。5)I.A.B.S.E.日本開催について。

(14) 論文集編集委員会部会長会(43.2.22)出席者:西村委員長,嶋副委員長,山口,神山部会長,ほか4名。議事:1)各部会報告。2)論文集第152号および第153号登載論文の決定。3)査読方針について。4)委員交代の件。

(15) 会誌編集委員会(43.2.23)出席者:増岡委員長,ほか15名。議事:1)次回特集編集の件。2)マンスリートピックス執筆決定の件。3)原稿依頼の件。4)英文担当委員選任の件。5)次回講座の件。6)その他。

(16) コンクリート委員会工場製品分科会(43.2.23)出席者:区分委員長,杉木主査,ほか7名。議事:鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)の逐条審議。

(17) 第116回耐震工学委員会(43.2.23)出席者:那須委員長,ほか8名。議事:1)軟弱地盤耐震設計研究委員会について。2)IAEEについて。3)地震工学研究発表会開催について。4)英文耐震規定改訂について。

(18) トンネル工学委員会設計小委員会(43.2.23)出席者:伊吹山委員長,ほか11名。議事:1)前回議事録の確認。2)現示方書の検討;第27条支払線~第23条支保工の断面と建込み間隔。

(19) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会コンクリート材料に関する分科会(43.2.24)出席者:村田主査,ほか8名。議事:空港舗装用コンクリート材料および配合に関する試験研究報告書(案)の取りまとめ。

(20) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会設計に関する分科会担当者打合せ(43.2.24)出席者:関係者3名。議事:空港剛性舗装概算要項案の審議および取りまとめ。

(21) 高校土木教育研究委員会(43.2.24)出席者:筋内委員長,三宅幹事長,ほか14名。議事:1)経過報告。2)測量実習指導書の編集経過について。3)高校土木教育白書の作業進捗状況について。4)昭和43年度委員会の構成について。5)昭和43年度の委員会の活動について

の検討。6) 構造実験指導書の編集についての検討。

(22) コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究小委員会幹事打合せ(43.2.26)出席者:関係者3名。議事:コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準(案)の逐条審議。

(23) 第4回軟弱地盤耐震設計研究委員会(43.2.26)出席者:岡本委員長,ほか16名。議事:昭和42年度報告書原案の審議。

(24) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会幹事打合せ(43.2.26)出席者:関係者2名。議事:調査報告書最終案取りまとめ。

(25) 太径鉄筋の使用法に関する研究小委員会(43.2.26)出席者:国分委員長,ほか5名。議事:太径鉄筋に関する試験研究結果の取りまとめ。

(26) コンクリート委員会打合せ(43.2.26)出席者:国分委員長,ほか8名。議事:鉄筋のガス圧接工事標準仕様書(案)の逐条審議。

(27) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会コンクリート材料に関する分科会打合せ(43.2.27)出席者:関係者2名。議事:「コンクリート材料および配合に関する試験研究」報告書のとりまとめ。

(28) 会誌編集委員会特集執筆打合せ(43.2.27)出席者:関係者11名。議事:会誌第53巻第5号特集:土木と経済(仮称)編集について。

(29) 海外連絡委員会幹事会(43.2.27)出席者:春田幹事長,ほか2名。議事:Civil Engineering in Japan, 1968の内容について打合せ。

(30) コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究小委員会幹事打合せ(43.2.28)出席者:関係者3名。議事:コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準(案)逐条審議。

(31) 空港舗装研究委員会 アスファルト舗装部会主査幹事会(43.2.28~29)出席者:関係者8名。議事:アスファルト舗装に関する調査研究の総括報告書の取りまとめ。

(32) 鋼鉄橋標示方書委員会 特別幹事会(第5回)(43.2.28)出席者:沼田委員長,ほか11名。議事:圧縮許容応力度と座屈に関する諸条項についての審議。

(33) 原子炉用プレストレストコンクリート容器に関する研究委員会(43.2.

28)出席者:国分委員長,ほか24名。議事:1)前回議事録の確認。2)原子炉用プレストレストコンクリート容器(設計概要書)。3)今後の事業計画について。4)九電力会社の原子力発電所建設状況について各社委員説明。

(34) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会(43.2.29)出席者:国分部長,ほか18名。議事:1)部会長挨拶。2)報告書案審議;①コンクリート舗装の路盤に関する調査研究,②コンクリート舗装の比較設計に関する試算,③コンクリート材料および配合に関する調査研究。3)総括報告書について。

(35) コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究小委員会幹事打合せ(43.3.1)出席者:関係者2名。議事:コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準(案)の逐条審議。

(36) 岩盤力学委員会第3分科会打合せ(43.3.1)出席者:関係者2名。議事:岩盤の現地試験に関する調査資料のとりまとめ。

(37) 空港舗装研究委員会 構造設計分科会地盤反力分科会(43.3.1~2)出席者:関係者4名。議事:1)コンクリート舗装の路盤に関する調査研究。2)アスファルト舗装の路盤構造の設計案。

(38) コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究委員会幹事打合せ(43.3.2)出席者:関係者3名。議事:コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準(案)の取りまとめ。

(39) 空港舗装研究委員会(43.3.4)出席者:国分委員長,谷藤副委員長,ほか23名。議事:1)各部会活動状況報告および成果報告書について。2)最終報告書案の審議。3)その他。

(40) コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究委員会幹事打合せ(43.3.5)出席者:関係者3名。議事:コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準(案)の取りまとめ。

(41) コンクリート委員会 PC 指針改訂のための打合せ(43.3.5)出席者:国分委員長,ほか17名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂のための検討。

(42) PC 工法小委員会レオンハルトン & レオバ工法打合せ(43.3.6)出席者:国分委員長,河野主査,ほか15名。議事:レオンハルトン工法設計施工(案)逐条審議。

(43) 文献調査委員会(43.3.7)出席者:松本委員長,ほか7名。議事:1)会誌53巻5号登載抄録について。2)解説記事について。3)その他。

(44) 出版企画委員会(43.3.7)出席者:春日屋,堺正副委員長,山本幹事長,ほか6名。議事:1)昭和42年度出版物の状況について。2)新規出版物の企画と委員会の方針について。2)43年度出版企画委員会の構成について。

(45) 空港舗装研究委員会 アスファルト舗装部会施工管理分科会(43.3.7)出席者:青山主査,ほか3名。議事:1)アスファルトコンクリート舗装の施工法に関する主要な調査研究報告書の取りまとめ。2)アスファルト舗装の品質管理に関する調査研究報告書の取りまとめ。

(46) 会誌編集小委員会(43.3.8)出席者:関係者6名。議事:1)会誌原稿審査の件。2)会誌第53巻第6号編集の件。3)その他。

(47) 田中賞選考委員会(43.3.8)出席者:福田委員長,平井副委員長,ほか9名。議事:1)第1回委員会議事録の確認。2)42年度田中賞(論文部門・作品部門)の推薦応募件数について。3)両賞候補の資格検討。4)候補(作品部門)のコンクリート橋,スチール橋の2部門分類。5)受賞件数について。6)橋のレポート編集委員会報告(年報第1巻「橋」1966~1967)。

(48) トンネル工学委員会土圧小委員会(43.3.11)出席者:村山委員長,ほか6名。議事:1)前回小委員会の決定事項の確認。2)国鉄のトンネル積算基準。3)鹿児島本線,桃田トンネルにおける測定。

(49) コンクリート委員会鉄筋コンクリート用再生棒規格化のための打合せ(43.3.11)出席者:国分委員長,ほか8名。議事:鉄筋コンクリート用再生棒鋼JIS規格化について。

(50) 土木図書館運営委員会(43.3.11)出席者:森委員長,綾幹事長,ほか6名。議事:1)幹事会報告。2)昭和43年度予算について。3)土木図書館運営委員会改組について。

(51) 河北潟干拓河口工事研究委員会(43.3.12)出席者:本間委員長,ほか18名。議事:1)導流堤の施工にともなう海岸変化について(その2)。2)海岸汀線保護工について。3)導流堤の根固めの補強ならびに新規延長分の設計について。

(52) トンネル工学委員会運営委員会(43.3.12)出席者:加納委員長,坂本副委員長,ほか10名。議事:1)第4回ト

ンネル工学に関するシンポジウム開催の件。2) 欧米トンネル研修視察団収支報告。3) 示方書改訂およびシールド指針作成に伴うトンネル工学委員会予算。4) トンネル国際シンポジウム(1970年)開催の件。5) トンネル運営委員会委員長交代の件。6) JREAの委託の件。

(53) 第2回表彰委員会主査幹事会(43.3.12) 出席者: 飯吉主査, 高橋主査, ほか3名。議事: 1) 功績賞, 技術賞, 予選投票の開票。2) 功績賞, 技術賞における決選に付すべき候補の決定。3) 第2回委員会における両賞予選通過候補の推薦者の出頭説明について。4) 第2回委員会議事次第。5) 両賞決選の方法。

(54) トンネル工学委員会(43.3.13) 出席者: 藤井委員長, 加納幹事長, ほか20名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 第4回トンネル工学に関するシンポジウムの開催の件。3) 各小委員会活動状況の報告。4) 欧米トンネル研修視察団報告。5) トンネル工学委員会予算について。6) トンネル運営委員会委員長交代について。7) 1970年トンネル工学シンポジウム開催の件。8) その他。

## 支部だより

### ◎関東支部

(1) 郷土の土木編集幹事会(42.12.26, 土木学会) 出席者: 今井幹事長, ほか6名。

(2) 「アジアの開発」講演会(43.1.23, 土木図書館) 講演: 4題, 参加者: 50名。

(3) 第6回映画会(43.2.21, 群馬県農業会館) 映画: 3編, 参加者: 400名。

(4) 関東地区評議員会(43.2.21, 土木学会) 出席者: 松井支部長, ほか19名。議事: 役員候補者選考委員会について。

(5) 関東地区役員候補者選考委員会(43.3.4, 土木学会) 出席者: 松井支部長, ほか8名。

(6) 関東地区役員候補者選考委員会(43.3.14, 土木学会) 出席者: 松井支部長, ほか8名。

(7) 幹事交代(43.3.30) 目黒顕清→山田達 日本道路公団 東京支社工事課

### ◎関西支部

(1) 岩盤および硬土盤掘削に関する講演会(43.3.12, 日本経済新聞大阪本社)

主催: 日本建設機械化協会 関西支部  
協賛: 土木学会関西支部  
題目: 6題, 参加者: 231名。

(2) 第3回商議員会(43.3.15, 好文倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか34名。

(3) 第11回幹事会(43.3.15, 好文倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事

長, ほか13名。

(4) 役員候補者選考委員会委員打合せ(43.3.22, 中央電気倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか3名。

(5) 第22回騒音振動委員会(43.3.22, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか9名。

(6) 騒音振動委員会幹事会(第19回)(43.3.22, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか3名。

### ◎中国四国支部

(1) 第3回映画会(43.3.8)

会場: 山口県自治会館

参加者: 150名

上映映画: 天草架橋(道路公団福岡支社), 由比の地すべり(土木学会), 東海道新幹線(土木学会), 利根川水系(関東地建)

(2) 見学会(43.3.25~27)

行程: 本州四国調査事務所~阪神高速~万国博覧会会場~琵琶湖大橋

参加者: 40名。

(3) 講演会(43.3.29)

会場: 広島合同庁舎大会議室

題目および講師:

最近の鋼材について

東京大学教授 奥村 敏恵  
水資源計画について

東京大学助教授 高橋 裕  
最近の交通計画について

京都大学教授 米谷 栄二  
参加者: 100名

## 編集後記

今月の会誌はいままでの特集記事とは大変毛色の変わった話題を取り上げて特集いたしました。

経済は今や私達にとっても縁遠いものではなく、今年に入ってから世界の経済は金とドル防衛, わが家の経済は国鉄運賃, 酒, 煙草等の諸物価の値上りなど豊富な話題を提供しております。

このように経済が身近な問題となったことに刺激されたわけではありませんが, 本年1月号の土木の直面している分化と総合をテーマにした特集「土木界の動向をさぐる」を別な角度から取り扱おうと特集「土木と経済」を企画しました。

経済という問題のとらえ方には種々あり, 非常に範囲の広い問題であり, この特集だけで土木での経済を完全取り込むことはできませんでした。しかし若い会員の方には経済に対する問題意識をもち, 一層の関心を持たれるための口火となることを編集子として願っております。

× × ×

大学土木教育委員会が昨年8月に行なった大学土木教

育の質と内容に関するアンケートの集計が, 約半年近くの作業により結果が出ましたので掲載しました。日本の大学教育も再検討される時期となり, 最近では5年制, 大学院大学など多くの問題を提起しています。このようなときに行なわれたアンケートの成果が会員の皆さんに反映して, 一層の関心を引きおこすことになれば幸いです。

× × ×

会員から大変ご好評をいただいている文献調査委員会の解説記事がここ数年継続して掲載されていますが, その粘り強い努力に敬意を表するとともに, より一層の発展を期待しております。

× × ×

時期に合った問題・話題をとり上げるため, 最近の会誌は特集号が比較的多く, 投稿原稿を中心とする会誌編集が少なくなっています。投稿数はほぼ例年並ですが, 一部の専門分野に投稿が集中するなど, 問題も少なくはありません。幅広い分野でのご投稿を会員の皆さんにお願いします。

(服部昌太郎・記)